

第6回 ESD大賞 募集要項

—Education For Sustainable Development Award—

Education For Sustainable Development (ESD) は、「持続可能な社会の担い手を育む」教育といわれています。持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材の育成が重要な課題となっています。

その人材育成のためには、ESD（持続可能な開発のための教育）が学校現場において正しく理解され、さらにそれに基づいた望ましい実践が普及されることが強く求められています。

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、このESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施しています。学校全体での取り組み、地域社会とのつながり、地域の特色を活かすことを大事にした具体的な取り組み、独自性のある取り組み実践例などを広く募集いたします。

奮ってご応募ください。

[主 催]

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

[後 援(予定)]

文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社、

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

[中央審査委員(予定)]

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 理事

佐野金吾（元全日本中学校長会会長、一般社団法人全国図書教材協議会会長）

北 俊夫（学校法人国士舘大学教授）

木曾 功（前ユネスコ政府代表部特命全権大使、内閣官房参与）

田村哲夫（前日本ユネスコ国内委員会会長、学校法人渋谷教育学園理事長）

齋藤英行（教育新聞社社長）

岡山慶子（朝日エルグループ会長）

文部科学省 国際統括官付

その他

[募集内容と実践研究対象]

「ESD大賞」設定の趣旨に基づいて、持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材を育てる実践研究事例の報告を募ります。

○実践研究の対象

小学校、中学校、高等学校における ESD の実践事例報告であること。

- ① ESD の全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わる ESD の実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わる ESD の実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わる ESD の実践研究。
- ⑤ ESD における教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESD における家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの登録申請を検討している。

[対 象]

全国の小学校、中学校、高等学校を対象とします。

[応募方法]

- 1 応募フォーマットに必要事項を記入して、締切日までにお送りください。
- 2 実践研究の内容やねらいがわかる資料（年間指導計画、学習指導案、教材、実践の写真）なども合わせてお送りください。ただし、A4判で5頁以内。

※ 上記資料をE-mail、郵送（CD-R等）のいずれかでお送りください。
応募資料は返却いたしません。

[スケジュール（予定）]

9月30日（水） 〆切 ※郵送の場合、当日消印有効

↓ 審査

10月中旬 受賞校へご連絡

↓

12月5日（土）第7回ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会にて 授賞式

[顕彰（予定）]

応募いただいた事例の中から、中央審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。

・ <u>文部科学大臣大賞</u>	<u>1校（すべての校種を対象）</u>
・ ユネスコスクール最優秀賞	1校（ユネスコスクールのみ対象）
・ 小学校賞	1校
・ 中学校賞	1校
・ 高等学校賞	1校
・ 企業特別賞：ネスレ日本ヘルシーキッズ賞	2校※
（専用フォーマットに記入いただいた小学校のみ対象）	

※本賞については、別添資料『ネスレ日本ヘルシーキッズ賞について』をご覧ください。

[教材の作成と配布（予定）]

顕彰校に、実践研究事例の詳細を執筆していただき、（別途執筆要項。B5判で各校3～5頁）冊子にまとめ、ESDの優れた教材として、ユネスコスクールをはじめ、ESDに興味をもつ学校に配布する予定です。

※受賞校へのご連絡後、原稿執筆を依頼し、大会参加者や行政、ユネスコスクール（現在939校）へ配布予定。時期は未定です。